

【第2回 昭和的働き方に関する意識調査】

39.4%の会社員が、勤める会社をいまだに「昭和的」と評価 “イマドキな働き方”では「働く場所がフレキシブル」が急上昇

はたらく現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」を提供するワークスマイルジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福山 耕介、以下 ワークスマイルジャパン）は、全国の企業に勤める20～50代の会社員を対象に、2回目となる「昭和的働き方に関する意識調査」を実施しました。

2018年に実施した前回調査と今回の調査結果を比較したところ、昭和的なイメージの働き方は、前回調査に引き続き「休暇が取りづらい」が1位になりました。また、新たに「社内の飲み会が多い」が5位にランクインしています。

イマドキなイメージの働き方は、前回調査に引き続き「休暇が取りやすい」が1位になりました。また、「働く場所がフレキシブルに変えられる」が前回5位から2位に急上昇する結果となっています。



そのほか、2018年に実施した第1回調査との比較を交え、その結果を公表します。

調査結果

【結果サマリー】

1. 39.4%の会社員が勤める会社を「昭和的」と評価、2018年調査比15.3%減
2. 昭和的なイメージの働き方TOP3は、1位「休暇が取りづらい」2位「働く時間が長い」3位「会社の飲み会には参加が必須」
3. 昭和的なイメージが強くなった働き方TOP3は、1位「FAXが多い」2位「社内の飲み会が多い」3位「電話が多い」
4. イマドキなイメージの働き方TOP3は、1位「休暇が取りやすい」2位「働く場所がフレキシブルに変えられる」3位「仕事が終わればすぐに帰ってもよい雰囲気がある」
5. イマドキなイメージが強くなった働き方TOP3は、1位「働く場所がフレキシブルに変えられる」2位「電話が少ない」3位「朝礼がない」
6. “昭和的な働き方”の良い点は「年功序列で昇進・昇給できる」、悪い点は「慢性的に残業がある」が最多
7. “イマドキな働き方”の良い点は「リモートワーク・テレワークができる」、悪い点は「対面でのコミュニケーションが少ない」が最多
8. “イマドキな働き方”の良い点に「リモートワーク・テレワークができる」と回答する割合は、2018年調査比25.2%増

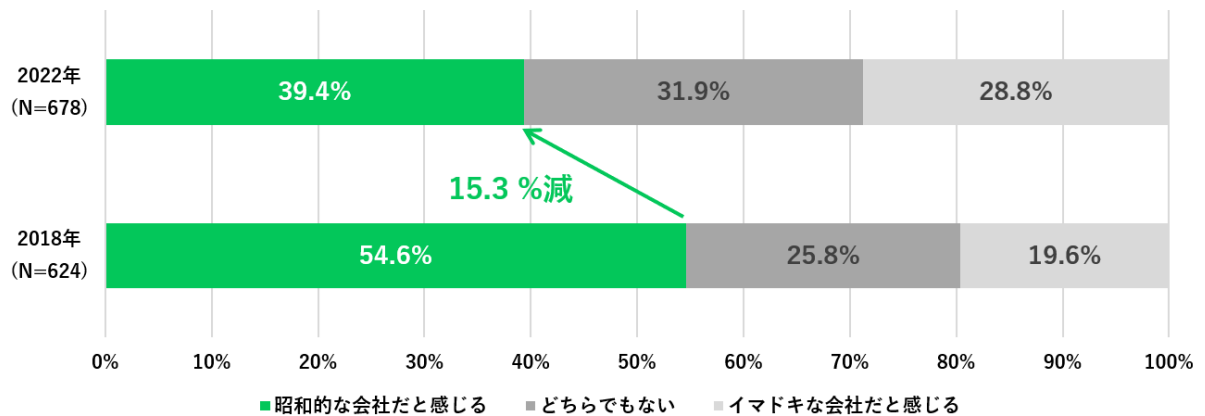
【調査結果詳細】

①39.4%の会社員が勤める会社を「昭和的」と評価、2018年調査比15.3%減

自分が勤める会社や働き方について、39.4%の会社員が「昭和的な会社だと感じる」と回答しました。54.6%が「昭和的な会社だと感じる」と回答した2018年調査と比べ、15.3%減少した結果となります。その他の項目では、「イマドキな会社だと感じる」が28.8%（2018年調査 [19.6%] 比9.2%増）、「どちらでもない」が31.9%（2018年調査 [25.8%] 比6.1%増）となりました。

LINE WORKS

あなたが現在お勤めの会社での働き方について感じることをお答えください。

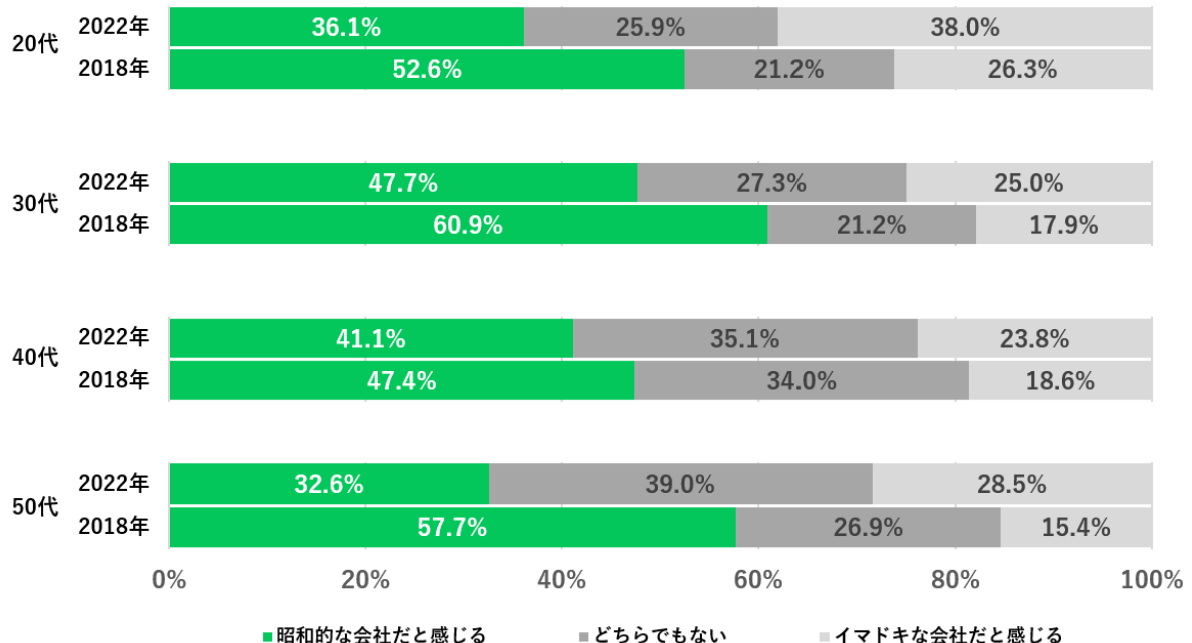


「昭和的な会社だと感じる」の回答を年代別に比較すると、20代が36.1%（2018年調査 [52.6%] 比16.5%減）、30代が47.7%（2018年調査 [60.9%] 比13.2%減）、40代が41.1%（2018年調査 [47.4%] 比6.3%減）、50代が32.6%（2018年調査 [57.7%] 比25.1%減）で、20代と50代をはじめ全世代で減少しました。

LINE WORKS

あなたが現在お勤めの会社での働き方について感じることをお答えください。（年代別）

（2022年N=678、2018年N=624）



②昭和的なイメージの働き方TOP3は、1位「休暇が取りづらい」2位「働く時間が長い」3位「会社の飲み会には参加が必須」

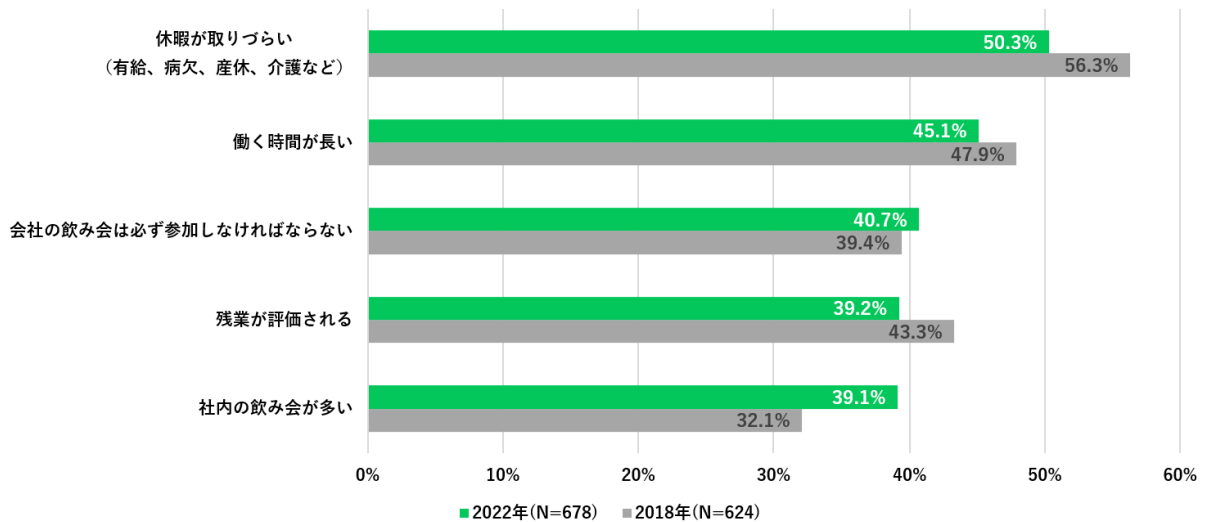
昭和的なイメージの働き方について聞いたところ、「休暇が取りづらい（有給、病欠、産休、介護な

WORKS MOBILE

ど)」が50.3%で最も多く、次いで「働く時間が長い」45.1%、「会社の飲み会には参加が必須」40.7%という結果になりました。2018年調査における3位「残業が評価される」と4位「会社の飲み会には必ず参加しなければならない」の回答順位が入れ替わったほか、「上司が退社するまで会社にいなければならない雰囲気がある」に代えて「社内の飲み会が多い」が5位に入りました。

LINE WORKS

あなたの「昭和的な働き方」に関するイメージとして当てはまるものをお答えください。
※上位5項目を抜粋

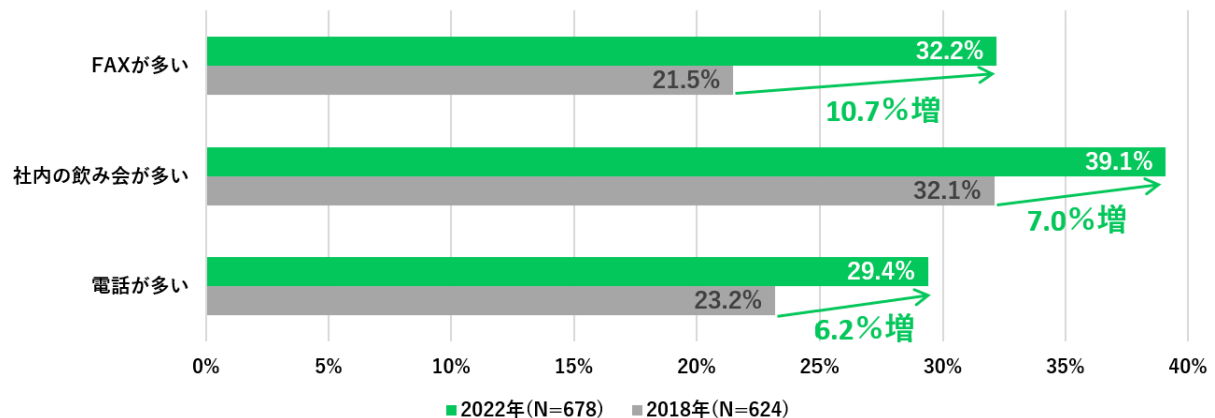


③ 昭和的なイメージが強くなった働き方TOP3は、1位「FAXが多い」2位「社内の飲み会が多い」3位「電話が多い」

2018年調査と比較し、昭和的なイメージの働き方として回答率が高まった項目は、1位「FAXが多い」10.7%増（2022年調査32.2%、2018年調査21.5%）、2位「社内の飲み会が多い」7.0%増（2022年調査39.1%、2018年調査32.1%）、3位「電話が多い」6.2%増（2022年調査29.4%、2018年調査23.2%）となりました。

LINE WORKS

「昭和的なイメージ」が強くなった働き方TOP3



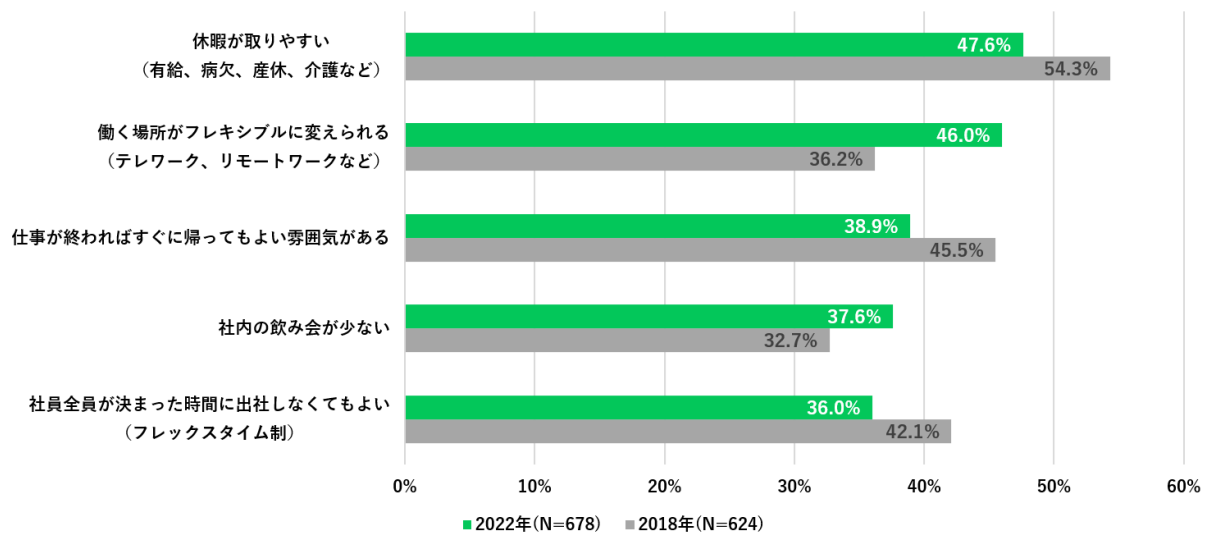
WORKS MOBILE

④イマドキなイメージの働き方TOP3は、1位「休暇が取りやすい」2位「働く場所がフレキシブルに変えられる」3位「仕事が終わればすぐに帰ってもよい雰囲気がある」

イマドキなイメージの働き方に関しては、「休暇が取りやすい（有給、病欠、産休、介護など）」が47.6%で最も多く、次いで「働く場所がフレキシブルに変えられる（テレワーク、リモートワークなど）」46.0%、「仕事が終わればすぐに帰ってもよい雰囲気がある」38.9%となり、2018年調査から1位を除いた上位項目の順位が変動しました。

LINE WORKS

あなたの「イマドキな働き方」に関するイメージとして当てはまるものをお答えください。
※上位5項目を抜粋

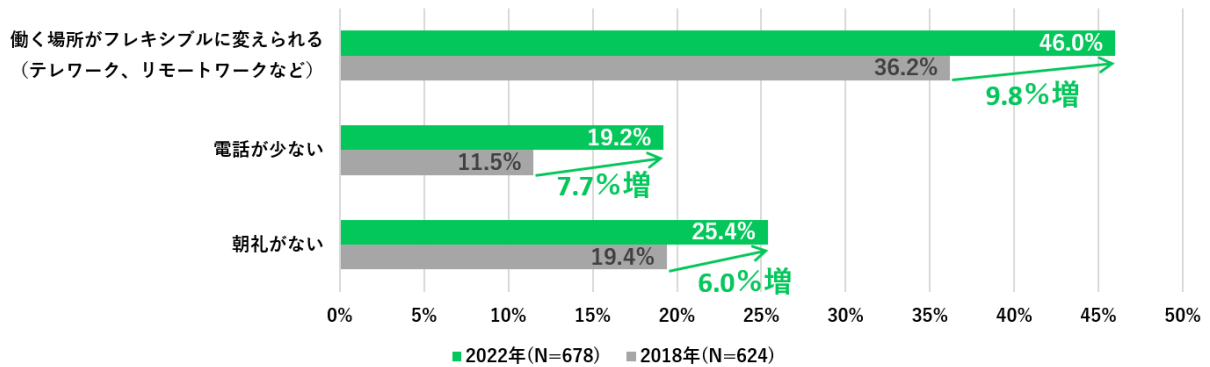


⑤イマドキなイメージが強くなった働き方TOP3は、1位「働く場所がフレキシブルに変えられる」2位「電話が少ない」3位「朝礼がない」

2018年調査と比較し、イマドキなイメージの働き方として回答率が高まった項目は、1位「働く場所がフレキシブルに変えられる（テレワーク、リモートワークなど）」9.8%増（2022年調査46.0%、2018年調査36.2%）、2位「電話が少ない」7.7%増（2022年調査19.2%、2018年調査11.5%）、3位「朝礼がない」6.0%増（2022年調査25.4%、2018年調査19.4%）となりました。

LINE WORKS

イマドキなイメージの強くなった働き方TOP3

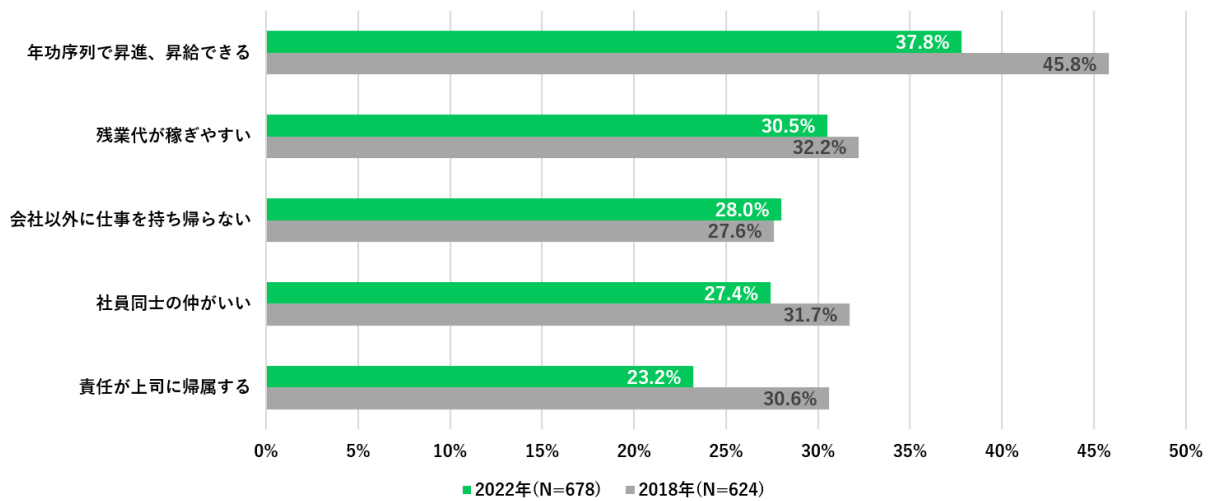


⑥“昭和的な働き方”の良い点は「年功序列で昇進・昇給できる」、悪い点は「慢性的に残業がある」が最多

“昭和的な働き方”の良い点を聞いたところ、「年功序列で昇進・昇給できる」が37.8%で最も多く、次いで「残業代が稼ぎやすい」30.5%、「会社以外に仕事を持ち帰らない」28.0%という結果になりました。

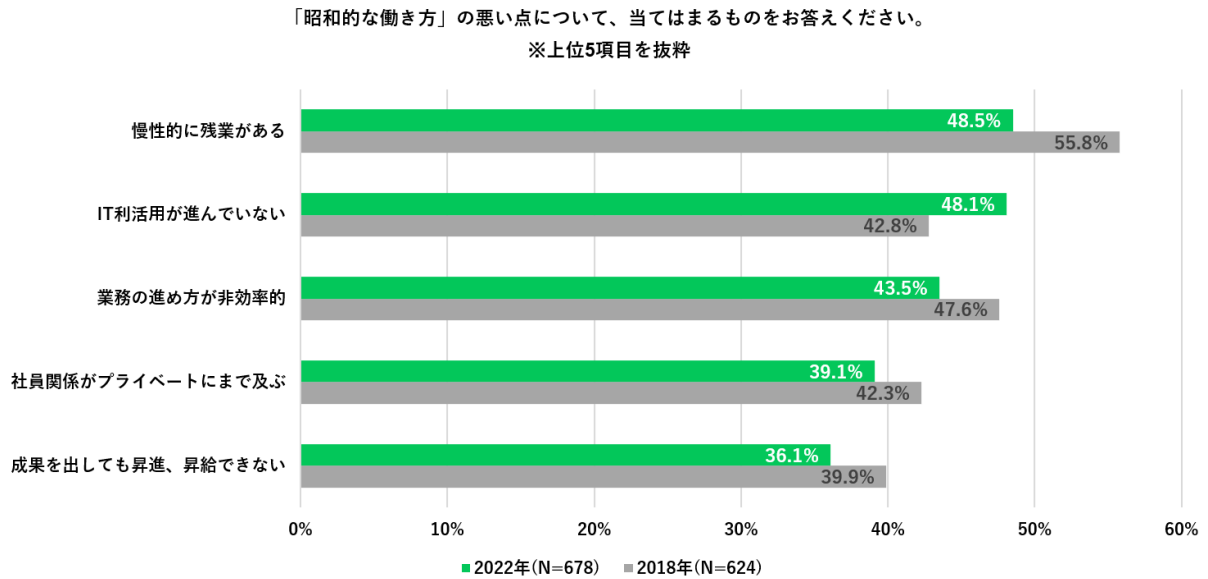
LINE WORKS

「昭和的な働き方」の良い点について、当てはまるものをお答えください。
※上位5項目を抜粋



一方、“昭和的な働き方”の悪い点は、回答が多い順に「慢性的に残業がある」48.5%、「IT利活用が進んでいない」48.1%、「業務の進め方が非効率的」43.5%と続きました。

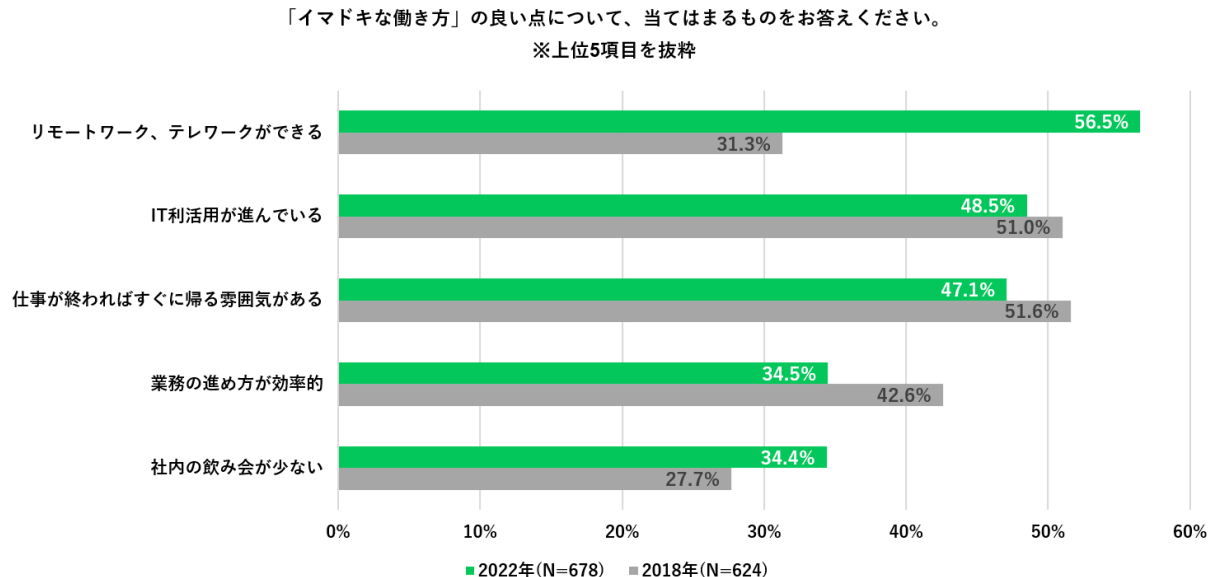
LINE WORKS



⑦“イマドキな働き方”の良い点は「リモートワーク・テレワークができる」、悪い点は「対面でのコミュニケーションが少ない」が最多

“イマドキな働き方”の良い点を聞いたところ、「リモートワーク、テレワークができる」が56.5%で最も多く、次いで「IT活用が進んでいる」48.5%、「仕事が終わればすぐに帰る雰囲気がある」47.1%という結果になりました。

LINE WORKS

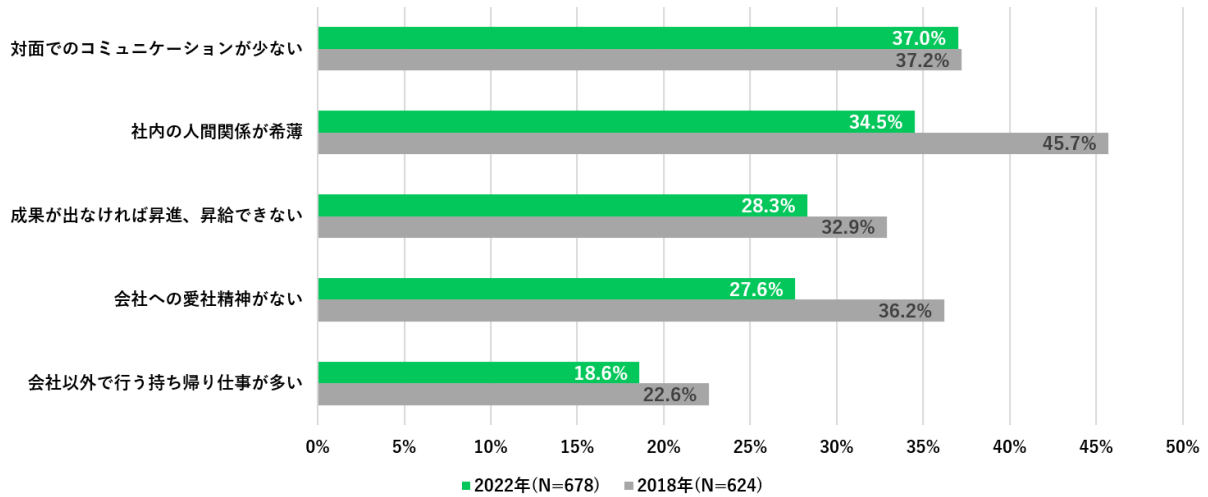


一方、“イマドキな働き方”の悪い点は、回答が多い順に「対面でのコミュニケーションが少ない」37.0%、「社内の人間関係が希薄」34.5%、「成果が出なければ昇進、昇給できない」28.3%と続きました。

LINE WORKS

「イマドキな働き方」の悪い点について、当てはまるものをお答えください。

※上位5項目を抜粋

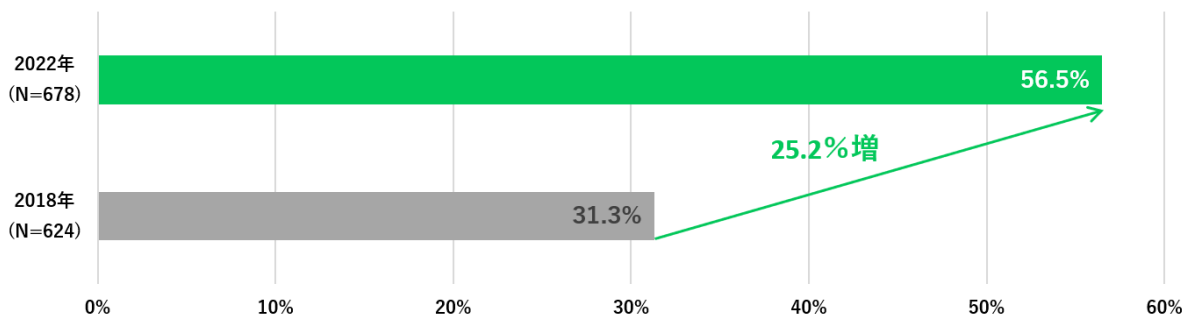


⑧“イマドキな働き方”の良い点に「リモートワーク・テレワークができる」と回答する割合は、2018年調査比25.2%増

今回、“イマドキな働き方”の良い点として56.5%の回答を得た「リモートワーク・テレワークができる」は、2018年調査（31.3%）と比較して25.2%増加する結果となりました。

LINE WORKS

「イマドキな働き方」の良い点に「リモートワーク・テレワークができる」と回答した割合の変化



WORKS MOBILE

【コメント：ワークスマイルジャパン株式会社 マーケティング本部長 増田 隆一】



第1回の意識調査から4年が経過し、ビジネスパーソンがイメージする「昭和的な働き方」や「イマドキな働き方」に変化が見られました。

まず、コロナ禍におけるニューノーマルな働き方への対応やDX推進の波を受けて、業務にデジタルツールを導入する企業が増加したことで、自身が勤める会社を「昭和的」と評価する人の割合が大きく減少しました。

また「FAXが多い」「電話が多い」といった項目が昭和的なイメージを強めているのも印象的です。フレキシブルな働き方が可能な世の中になってきている分、時間や場所に縛られる電話

やFAXでコミュニケーションが、昭和的な働き方のイメージとして、より際立ってきたのではないのでしょうか。

一方、今回の「イマドキなイメージの働き方」の残念な点として「対面でのコミュニケーションが少ない」が挙げられています。ビジネスチャットやオンライン会議が中心のコミュニケーションはイマドキですが、それをネガティブに捉える人もいるようです。ビジネスコミュニケーションツールは常に進化しています。ワークスマイルジャパンは今後も、働く人の気持ちに寄り添い、対面コミュニケーションに負けないサービスを「LINE WORKS」を通じて提供し、はたらく皆さまを応援してまいります。

■ 調査概要

● 2022年調査

- ・ 調査エリア : 全国
- ・ 調査実施期間 : 2022年4月6日(水)～2022年4月8日(金)
- ・ 調査対象者 : 20～59歳
- ・ 雇用形態 : 正社員
- ・ 条件 : 中小企業基本法の定義に基づき、中小企業社員を抽出
上記以上の企業規模を大企業と定義し大企業社員を抽出
- ・ サンプル数 : 678サンプル (男性461名、女性217名)
- ・ 調査方法 : インターネット調査

● 2018年調査

- ・ 調査エリア : 全国
- ・ 調査実施期間 : 2018年6月25日(月)～2018年6月27日(水)

WORKS MOBILE

- ・調査対象者 : 20～59歳
- ・雇用形態 : 正社員
- ・条件 : 中小企業基本法の定義に基づき、中小企業社員を抽出
上記以上の企業規模を大企業と定義し大企業社員を抽出
- ・サンプル数 : 624サンプル（男性427名、女性197名）
- ・調査方法 : インターネット調査
- ・前回調査結果 : <https://line.worksmobile.com/jp/pr/20180724/>

「LINE WORKS」とは

チャットやスタンプはもちろん、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えたビジネスチャットです。コミュニケーションアプリ「LINE」のような使いやすさを保ちながら独自に開発・提供を行っており、ユーザーの教育も最小限に導入したその日から誰でもすぐに使えます。PCやタブレットのほか、スマートフォンだけでもほとんどの機能が使えるため、オフィスワークだけでなく、拠点や店舗などPCを使う時間の少ない「現場」での活用が進んでいます。無料版、有料版（スタンダード・アドバンスト）があり、無料でもほとんどの基本機能を使うことができ、顧客や取引先など社外とのやりとりにも活用していただけます。富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2018～2021年版」では、2017年度～2020年度まで4年連続で有料ビジネスチャット国内シェアNo.1を獲得しました。

■会社概要

社名：ワークスマイルジャパン株式会社

本社：東京都渋谷区神宮前1-5-8 神宮前タワービルディング11F

設立：2015年6月

代表者：代表取締役社長 福山 耕介

資本金：55億2,000万円

URL：<https://line.worksmobile.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれ会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ワークスマイルジャパン広報事務局（株カケル内） 担当：山崎

TEL：070-4471-4264 Mail：press@kakelu.com